令和７年度　公益社団法人下伊那教育会

『郷土調査部研究発表会』オンデマンド配信のご案内

下伊那地方の人文・自然

～郷土をより広く・深く知る発表会～

配信期間　令和8年１月23日（金）～２月３日（火）

視聴方法　下伊那教育会のＨＰにアクセス
「お知らせ」にあるＵＲＬをクリック

下伊那教育会「郷土調査部研究発表会」のご案内

下伊那教育会郷土調査部では、郷土の自然・歴史・文化等について、８つの委員会がそれぞれの調査研究を進め、その成果を広く発信する機会を設けております。この研究発表会は、昭和24年に第１回が開催されて以来、毎年歩みを重ね、今年度で77回目となりました。今回は、４つの委員会が研究発表を行います。多くの皆様にご視聴いただき、下伊那についての知見を広げていただければ幸いです。

地質委員会

下伊那地域の
露頭に見られる
岩石と火山灰、化石

小林弘明（阿南第一中学校）

気象委員会

飯田市南信濃
周辺の気温
～南信濃観測所
アメダスの観測結果との比較から～

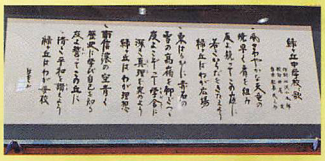
伊藤択真（豊丘北小学校）

歴史委員会

天狗党行軍の
伊那谷通過

松田祥平（伊賀良小学校）

西尾実研究委員会



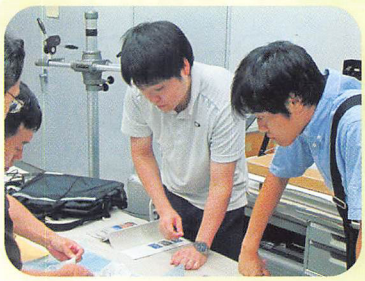
緑ヶ丘中学校
校歌制定と西尾実
～校歌に込めた
作詞者北沢小太郎の思い～

窪田允昭（緑ヶ丘中学校）

主　催　公益社団法人　下伊那教育会
共　催　公益社団法人　信濃教育会

配信内容のご案内

開会行事 5分



今年度、地質委員会では「下伊那地域の露頭に見られる岩石と火山灰、化石」と題して、下伊那にある岩石や火山灰、化石について調査した結果と、その教材化について発表します。下伊那は御嶽山等に由来する火山灰や、新第三紀層の化石を中心に観察できる地域ではありますが、近年、様々な事情で観察できる場所が少なくなっています。今回、子ども達のより身近な教材として、地域の岩石や化石を利用しての学習や観察場所について提案します。

1 地質委員会 20分

2 歴史委員会 20分

幕末の動乱の中、尊王攘夷を掲げて水戸から京都を目指した「天狗党」（水戸浪士）。大砲を引いた1000人規模の集団は、京都へ向かう道中で伊那谷を通過することを選んだことにより、飯田藩ではその対応に苦慮したことが記録に残っています。また、当時の飯田・下伊那地方には国学者が多く、天狗党の志に共感しつつも、藩の立場により複雑な対応を迫られたことが分かりました。天狗党が通過した松川町から飯田市大瀬木辺りまでの調査や当時の飯田藩の様子について調べたことを発表します。

昨年度より気象委員会では、飯田市南信濃周辺の気温について調査をしてきました。2020年に長野県の観測史上最高気温の39.5度を記録している飯田市南信濃では、日々の天気予報でも県内最高気温の予想となっているケースを多く目にします。南信濃は本当に暑いのか。そんな疑問を解決するため、アメダスが設置されている南信濃観測所と標高がほぼ同じとなる下伊那地域の小中学校に気温測定用のデータロガーを設置し、最高気温の比較・分析をしました。今回はその研究結果について発表します。

3 気象委員会 20分

4 西尾実研究委員会 20分

現在、緑ヶ丘中学校で歌われている校歌が作られるまでにはたくさんの地域の方々の熱意やアイデアが寄せられていました。その中で、校歌の作詞者となった北沢小太郎さんがどのような思いをもって歌詞を作られたのか。また、「校訂西尾実」とある西尾実先生はどのように緑ヶ丘中学校校歌の作成に関わられたのか。今年度、西尾実委員会では、緑ヶ丘中学校校歌が作られるまでの過程を発表します。

閉会行事 5分

過去の発表動画・資料について

下伊那教育会HPの「行事のご案内」にある「郷土調査部研究発表会」のアイコンからお入りください。なお、著作権の関係でご覧いただけない動画・資料もあります。

お願い

ご視聴後、
QRコードのアンケートに
ご回答ください。

問い合わせ先：下伊那教育会郷土調査部推進副委員長
市瀬一宏（喬木第一小学校 0265-33-2044）